

ようこそ長野市へ

～国家間の真の交流の基礎として～

姉妹都市提携65周年を記念して、米国・クリアウォーター市のブルース・レクター市長をはじめとする21名の親善訪日団の皆さんが、7月22日から25日まで長野市に滞在されました。本市では、歓迎のため、市長をはじめ市議会議員も出席した全員協議会や記念レセプションを開催し、交流を深めました。

滞在中、皆さんには川中島中学校での教育交流のほか、みそやおやきの製造工場、戸隠神社奥社等をご視察いただきましたが、それらを通して本市のことをより一層理解いただけたと感じています。

現在、米国とは国レベルで関税や安全保障問題が課題となっていますが、このような地方都市同士の交流を通じて両国が相互理解を深め、平和で友好的な関係が継続していくことを願います。

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

ながの だより 市議会

令和7年
6月定例会
NO.131

■主な内容

- ◆審議された議案等……………2・3
- ◆市政に関する質問の要旨…4～9
- ◆委員会のうごき/トピック…10・11
- ◆9月市議会定例会 会議予定…裏表紙



ポアルス長野フットサルクラブ 10月のホームゲーム 立川アスレティックFC戦 10/5(日)14時、キックオフ
10月5日は、ことぶきアリーナ千曲へ応援に行こう！

市議会定例会

会期
6月12日
6月27日

一般会計5億5,343万2千円を補正

一般会計予算総額は1,936億7,343万2千円に

6月市議会定例会が6月12日から27日までの十六日間の会期で開かれ、令和7年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました（3頁参照）。補正予算など主な議案の概要について紹介します。

補正予算の内容

6月定例会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに五億五千三百四十三万二千元を追加し、一般会計予算総額は一千九百三十六億七千三百四十三万二千元となりました。

主な内容は次のとおりです。

◆路線バス廃止対応

路線バス廃止代替運行事業

アルピコ交通が運行していた路線バス（五路線）が令和7年9月30日に廃止されるに伴い、10月以降の代替運行に要する経費が追加されました。概要は次のとおりです。

■県道戸隠線

- ・乗合タクシー運行補助 一千万円
- ・戸隠地区AIデマンド運行経費 五百万円

■篠ノ井新町線

- ・乗合タクシー運行補助 九百万円
- ・鬼無里線、高府線、新町大原橋線
- ・令和8年3月末までの運行継続経費 一億二千六百九十九万七千円

■五路線共通

- ・地域連携ICカード機器整備負担金 三千二百七十万円

（合計三億五、〇六〇万七千円）

スクールバス・タクシー運行事業（路線バス減便等対策）

令和7年4月以降の路線バスの減便及び廃線の影響を受ける市立小・中学校の児童・生徒の通学手段を確保するため、スクールバス・タクシーの運行に要する経費が増額されました。（四、一六〇万七千円）

◆指定管理施設物価高などへの補填

畜場、福祉施設、観光施設、文化施設、スポーツ施設、教育施設等の管理に対する指定管理料

令和6年度において、物価高などにより管理運営費の高騰の影響を受けた指定管理施設に対する指定管理料が増額されました。

（三、三九三万二千元）

◆その他

インバウンド誘客・受け入れ環境整備事業

急増する外国人旅行者に選ばれる「観光都市ながの」を実現するため、国の交付金を活用し、魅力的な観光コンテンツの造成、受け入れ環境整備、効果的なプロモーション等の事業実施に要する経費が増額されました。

主な議案の内容

長野市印鑑条例及び長野市手数料条例の一部改正

個人番号カード等を利用してコンビニエンスストア等に設置された端末機により証明書等の交付を受けた場合の手数料の金額の減額措置を恒常化することに伴い、改正されました。

工事請負契約の締結

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向け整備を進めている長野運動公園総合体育館建設工事に関し、相手方と工事請負契約を締結することについて議決しました。（令和8年11月下旬竣工予定）



観光客に人気の戸隠スキー場



長野運動公園総合体育館建設工事の進捗状況（令和7年6月18日現在）

質問の要旨

6月定例会本会議では二十四人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介します。

なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

個人質問

新友会 和田 一成

問 次期市長選への出馬の考えは

答 残された任期の中で、本年度予算に掲げた事業をスピード感をもって着実に進め、その進捗を図っていくことが私の使命だと考えている。

問 持続可能な公共交通ネットワークの確保に向けた取り組みは

答 赤字を補填して運行を確保する取り組みだけでは、公共交通ネットワークの維持は難しい。公共交通のほか福祉有償運送やスクールバス等、全庁的な施策、事業や課題を整理しつつ、本年度予算を活用し、本市に合った新しい公共交通のあり方を含

め、市民の移動手段に関する調査研究の実施に向けて準備を進めている。

問 フューチャー・デザイン手法の検討と導入について、市の考えは

答 持続可能な財政運営を行うために、フューチャー・デザインの視点は非常に重要。他の自治体の取り組み等も参考に研究していく。

※フューチャー・デザイン：様々な課題の解決にあたり、現在の世代の視点だけで考えるのではなく、その課題の影響が及ぶ将来世代の視点も含めて考えることで、将来世代の利益も踏まえた持続可能な選択を意識しやすくする手法のこと。

問 (仮称) 長野市子どもの権利条例の制定時期について、市の考えは

答 今まさに権利救済を必要としている子どもたちのために、スピード感をもって条例を制定することも大

切な視点と考える。できるだけ早い時期の条例制定をめざしたい。

共産党 野々村博美

問 本市では認定農業者への支援制度を充実させてきたが、成功しているとは言えない。方向性の検討が必要では

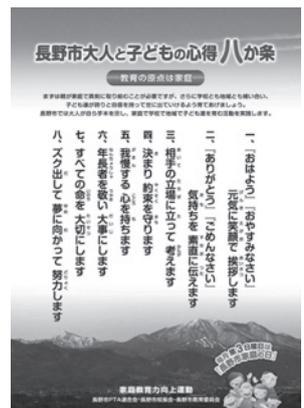
答 少子高齢化が進む中では、中核的農業者だけで地域農業を維持していくことに限界を感じる。小規模農業者、半農半X、移住就農者、農業法人など幅広い人材を、多様な担い手として地域計画に位置付ける。また、農業者の生の声を聴きつつ、地域計画をブラッシュアップしていく。

問 人口減少時代に、タワーマンションを中心とした駅前B1地区再開発が、中心市街地の活性化につながるのか。市長の見解は

答 まちなか居住の促進、中心市街地の活性化に大きく寄与し、地域の防災対応力の向上にも資することから、この事業を進めていきたい。

問 家庭の教育力向上をめざして市教育委員会、市PTA連合会、市長会が「長野市大人と子どもの心得」

平成24年に市PTA連合会が制定した長野市大人と子どもの心得八か条



「八か条」を制定した。学校生活に息苦しさを抱え不登校が急増している中、第五条には我慢する心をもちますなど、子どもの権利条例とは相入れない内容が含まれている。見解は

答 そういった意見があることを、市PTA連合会に伝える。

公明党 藤澤 紀子

問 重度身体障害者のタクシー利用券は、個別の事情に応じた支援が必要。支援の拡充に対する考えは

答 公平性の観点から慎重な検討が必要。アンケートを通じてニーズ等を調査し、利用しやすく持続可能な事業のあり方を検討していく。

問 市立小・中学校で不登校児童・生徒の親の会の活動数は。今後開催する場合、学校の協力は可能か



条例骨子案に対するご意見等をお聴きするため開催したオープンハウス型説明会



整備が進むアムールトラの森。手前が屋外展示場、正面の建物が獣舎、左奥が学習室となる予定

答 小学校三校、中学校四校で開催。保護者同士がつながり、安心して気軽に語り合える環境づくりに努める。

改革ネット 東方みゆき

問 茶臼山動物園「アムールトラの森」とともに整備されている学習室、物販スペースの運営方針は

答 学習室はインタープリテーションを通じた体験型学習での活用を検討。物販スペースは既存売店の三倍の面積を確保。オリジナルグッズのほか、地産農産物、ジビエの販売も予定。リピーターや新規来園者の獲得、動物園の運営向上につなげたい。
※インタープリテーション…動物や自

然などに関する単なる説明ではなく、体験や飼育員等との対話を通じて来園者に分かりやすく伝え、興味をもってもらおう手法のこと。来園者がふだん見ることのできない動物園の裏側を見学し、動物たちの生活や飼育環境などを学ぶバックヤードツアーなどもその一つ。

問 篠ノ井駅東西自由通路の修繕は

答 令和4年度の点検で屋根からの漏水が確認され、5年度までに応急工事を実施。8年度から9年度に、通路全体の屋根と外壁の修繕工事、天井の張り替え工事を実施予定。

次世代長野 和田 凌 次

問 物価高騰などを踏まえた、小・中学校の教育旅行への支援状況は

答 就学援助制度を通じ、対象児童・生徒の保護者に旅行費用の一部を援助している。市立各校や他市の取り組み事例を共有し、支援していく。

問 教育旅行の誘致、支援の検討は

答 合宿開催支援金として教育旅行への支援を行っているが、修学旅行は対象外。今後の誘致策、支援策は、令和7年度・8年度に実施する次期観光振興計画の策定過程で、支援制度のあり方も含めて検討していく。

新友会 西脇かおる

問 本市の郷土食・行事食の食文化継承に向けた今後の方向性は

答 幅広い世代の市民が郷土の食文化に親しみを持ち、楽しみながら、主体的かつ意欲的に次世代への継承活動に関わりがもてるような環境づくりに取り組む。

問 公共工事において、市民参画の視点を積極的に取り入れ、より開かれた愛着もてるまちづくりを、市民連携で推進してもらいたい

答 工事が進む様子を市民が目にする中で、施設への愛着につながるものが期待される。事業者と協議し、



建築学科で学ぶ大学生を対象にエムウェーブ工事現場見学会を開催

市民が公共施設の整備を身近に感じられる機会を積極的に設けていく。

問 持続可能なセカンドキャリアの選択肢を提供するため、引退後のトップアスリートを対象とした市職員特別採用枠の創設を提案するが

答 採用方法や時期も含め、具体的な検討を進めたい。

公明党 堀内 伸悟

問 ケアラーを地域全体で支える仕組みが必要。ケアラー支援条例によって、支援の方向性を示すべきでは

答 提案の趣旨をしっかりと受け止めて、今後、調査研究を行っていく。

問 介護保険の特定福祉用具購入は初期費用の負担感が大きい。本市も受領委任払い制度を導入すべきでは

答 負担軽減のため、導入の検討を進める。制度が円滑に導入できるように、関係機関と調整を進めていく。

※受領委任払い制度：介護保険制度の利用者が、かかった費用のうち自己負担分（一割から三割）を事業者に支払い、保険給付分（九割から七割）を利用者からの委任に基づき、自治体から直接、事業者を支払う制度のこと。これにより、利用者の一時的な経済的負担を軽減することができる。

無所属 山崎 裕子

問 子どもが身近なところで、どんな気持ちも安心して話ができ、救済につながるような窓口が今求められている。子どもに関する事柄なら何でも相談できる窓口として既に広く認知されている「あのえつと」の名称を活かし、子どもオンブズパーソンを補佐する調査相談員が子どもの話を聴く子どもの権利相談室「あのえつと」を設置しては

答 子どもオンブズパーソンと子ども総合支援センター「あのえつと」の位置付けは、子どもの権利条例制定と併せて今後も庁内で検討する。

新友会 宮崎 治夫

問 市長の任期満了に向けた心境は

答 様々な課題に向き合いながら、市民の暮らしを守り、安心できる生活環境を築くため、現在は市政運営を着実に進めることに注力している。

問 投資会社との連携、飯綱高原スキー場跡地の活用に対する今後のビジョンや対策についての考えは

答 国内外の事業者を巻き込み戦略



令和6年度長野市青少年健全育成フェスティバルの様子

的に取り組むことが大切で、投資会社も連携先候補の一つ。来期に向け遊具等を設置し、ぶなっち広場の充実を図る予定。飯綱高原スキー場跡地の活用にとどまらず、具体的にどのようなことができるのか考えたい。

問 川中島幹線早期整備への検討は

答 川中島町原から篠ノ井布施高田までの未整備区間は、通学路対策、周辺道路の混雑緩和など道路ネットワークの連続性の観点からも重要区間。現在施工中の区間に引き続き、着手すべき区間として検討したい。

新友会 松田 光平

問 子どもの教育と発達についての

第一義的責任は親にあり家庭教育方針を定めることが重要。家庭教育セミナーの開催や相談窓口の設置により、家庭教育推進を図るべきでは

答 「あのえつと」と連携し、様々な相談に対応。協定を結んだ信大教育学部や長野県警等の関係機関とも連携し、保護者の悩みに寄り添い支援したい。セミナーについては、青少年育成イベントでの講演会開催やPTA企画事業への補助を実施。

問 茶臼山一帯の魅力をさらに磨き上げ子どもたちがまた遊びたいと思う公園づくりとして、キャンプ場やコースター、飲食店建設等のリニューアルを公民連携で検討できないか

答 ParkIPFIは、民間活力を導入し利用者の利便性向上を図られる制度。先進自治体の事例を参考に、導入について調査研究を進める。

※ParkIPFI：自治体が、都市公園の魅力と利便性の向上のほか、財政負担の軽減を図るため、飲食店売店等の公園施設の整備または管理を行う民間事業者を公募により選定する制度のこと。

共産党 滝沢 真一

問 公共交通の料金は未就学児が無

料、12歳未満が半額。省令の鉄道運輸規程が根拠となっているが、八十二年前の戦前の省令のままとなっている。国に見直しを求めるべきでは

答 全国一律での見直しは運送事業者全体に多大な影響を及ぼす。見直しを求めることは考えていない。

問 児童福祉法では、児童とは満18歳に満たない者と規定。子どもの権利条約も18歳までが対象。子どもの権利に関する条例の制定をめざしている本市として、国に対し、時代遅れの鉄道運輸規程の見直しを求めるべきではないか。市長の見解は

答 担当部長が答弁したとおり。

無所属 山崎 昭夫

問 県宿泊税の交付金を、本市ではどのように活用していくのか

答 インバウンド観光客等のマナーや看板等の英語表記の不足といった課題があるため、課題や受け入れ環境の改善を含め、検討していく。

問 本市の米生産支援の取り組みは

答 生産条件が不利な中山間地域や、作業の省力化を図る農業機械化など



コンバインによる稲刈り（写真提供：JAグリーン長野）

への支援を実施。国の動向を注視しつつ、日本人の主食である米の生産を農業者が希望をもつて継続できるように、関係者と協力して取り組む。

次世代長野 内藤 武道

問 情報発信力向上のため、民間デザイナーや編集の専門家との連携は

答 他市では、職員として採用、デザイン作成等を民間に委託、アドバイザーとして連携体制を構築し助言を受けるなど、手法は様々。どう取り組んでいくべきか研究、検討する。

問 「そば県」信州の推進に、どう関わっていくのか。市長の考えは

答 そばの振興に向け、多くの事業



市内の体験教室で伝統的な技法のそば打ちに挑戦！

者との連携などを検討していく。

新友会 市川 和彦

問 時と場所を選ばない学習活動を可能とするICT教育の将来展望は

答 ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの場を提供し、自学自習の資質能力の伸長を図る。

問 人口減少に伴う二〇四〇年問題が社会の大きな課題となる中、本市の行政DXを活用した対策は。課題解決に向け、業務改善、職員研修の徹底、人材不足対策等を要望するが

答 定型的業務の自動化、テレワーク環境の整備、書かない窓口の導入のほか、職場のDXを牽引するDX



デジタル技術を活用した行政運営の変革をめざし、新規採用職員向けに行政DX研修を開催

推進リーダーの育成に着手する。

問 城山公園交流の丘ゾーン整備事業の今後の進め方は

答 計画と事業手法の検討を進める。

無所属 倉野 立人

問 産業立地ビジョンについて、川中島町のように住自協として取り組む方々にどのように向き合うのか

答 地権者のみならず、地域住民にも丁寧な説明に努める。住自協の方々とも意見交換を行い、十分な意思疎通を図る必要があると考える。

問 障害者総合支援法改正により創設された就労選択支援の正しい理解

答 長野市PTA連合会の中で議論されることが大事。意見を伝える。

と適切な運用に向けた市の支援は

答 障害者の就労支援は生活の質に直結する重要な取り組みと捉え、利用者目線に立った就労支援を行う。

改革ネット 原 よしひ

問 路線バスの減便・廃止が相次ぐが、バス事業者のこれまでの実情をどう捉え、どう対応してきたか

答 国の基準に基づく支援などを実施したが、バス事業者を取り巻く環境は一段と厳しくなっており、今後事業者と連携して取り組んでいく。

問 公共交通の維持・存続に抜本的な改革が必要だが、市長の考えは

答 これまでのように赤字補填でバス運行を継続する手法は限界にきている。市民の移動手段確保の実現に向け、全庁挙げて取り組んでいく。

問 十三年前に策定され見直しを検討されてこなかった「長野市大人与子ども的心得八か条」は、適切な内容などの議論が必要。教育委員会から議論の投げかけを要望するが



北部幹線のアンダーパス

公明党 清水美加子

問 市民の命を守るためにも、冠水箇所の早期把握と迅速な対応体制の整備が急務。アンダーパスに地点名称板を設置し、緊急時における通報と対応、双方の迅速化を実現する取り組みを強く希望するが、見解は

答 地点名称板の設置は大きな効果が期待できる。まずは交通量が多い幹線道路のアンダーパスに地点名称板を設置する取り組みを進める。併せて、冠水時に水深の分かる路面標示についても、計画的に整備を行う。

新友会 本木 晋

問 都留文科大学の大学構内臨時ごみステーション設置のような、学

生の引越しごみに対する地域の負担軽減策を検討する考えは

答 地域の負担軽減につながるほか、リユースの取り組みなどSDGsの観点から、よい取り組みの一つ。大学等設置者へ情報提供していく。

問 社会体育館等スポーツ施設におけるドローンやラジコン飛行の禁止の理由と見直しの可能性は

答 屋内施設は無人航空機等の飛行を想定したものではないため、照明器具や壁などへの接触や落下による施設損傷のおそれがある。近年、操作性や機能性の向上が進むとともに、防災などへの活用が期待されており、屋内等での利用に配慮し、ソフトな素材で作られた機体も現れていることから、施設の有効活用も視野に入れ、一定の基準を設けた上で、屋内施設において使用を許可することの検討を開始している。

無所属 小泉 一真

問 市保有の松代駅舎解体「決定」について、駅舎は信州大学土本先生によれば建築史的に貴重。解体やむなしという、地元住民ではなく、市

としての判断はどのようにしたのか

答 地元・松代の要望により解体の予算をつけたもの。

問 地元へ責任を押し付けている。

青木島遊園地のような結果にならないよう保存と交通安全が両立できるプランを市が考えるべきでは、市長

答 今後、地元の皆様と丁寧^{ていねい}に議論し、意見を尊重して対応していく。

新友会 桜井 篤

問 弁天公園整備の必要性は。緊急避難場所の機能をもつ公園として、今後どのような方針で取り組むのか

答 三輪地区は公園面積が少ないため必要性はある。防災設備を備えた都市公園としての整備が望ましい。地域に密着した近隣公園として計画区域の見直しも含め、地域の皆様の意見を聴きながら検討していきたい。

問 会計年度任用職員の正規職員への登用と職員の休暇制度の拡充は

答 会計年度任用職員の処遇改善や正規職員としての採用に向けた取り組みを進めたい。国の仕事と生活の両立支援制度の拡充を受け、休暇制

度の拡充のほか時間外勤務の縮減や在宅勤務の活用など、職員の子育て支援のさらなる充実に取り組む。

新友会 北沢 哲也

問 中山間地を通る六路線は、運転手不足や利用者減少を背景に、本年9月で廃止される予定。発想を転換し、市街地に出かけずとも地域内で完結できる仕組みとして、診療所の機能強化、診療科の拡充や福祉・介護現場の連携体制構築等により、住民が安心して地元で医療を受けられる環境づくりを進める考えは

答 厳しさを増す中山間地域医療の将来を見据え、住民に寄り添った医療環境の整備に取り組んでいきたい。



国民健康保険戸隠診療所



公明党 浅川 徹

問 公園利用の満足度を高めるため、日よけスペースの設置を提案するが

答 今後、公園の利用状況を見ながら、どのような施設がよいのかを含め、地域の方々と検討していく。



城山公園に設置されている日よけシェルター

問 朝の子どもの居場所確保について、学校教育の現場を含め、地域社会全体で見直す必要があるのでは

答 まずは先進自治体の例を参考に研究し、行政をはじめ地域社会全体で取り組みが進むよう考えていく。

共産党 阿出川 希

問 地域の防犯灯LED更新費用が負担となっている。支援すべきでは

答 更新工事の際、依頼事業者がばらばらなことで工事に差が生じている。補助金の適正金額を含め、工事業業者の選定を市が代わって実施できないかなど検討を開始した。

問 ケアマネジャーは、本来業務のほかに無報酬労働の負担が大きい状況。この現状に対する市の見解は

答 令和9年度には市内のケアマネジャーが不足する見込み。6年度は研修会と連絡会を五十五回開催。相談も随時受けるなど支援している。引き続き支援のあり方を検討する。



ケアマネジャーの資質向上と情報共有を目的に開催された研修会

新友会 加藤 英夫

問 今後の児童・生徒数の推移や地域の特性を踏まえ、義務教育学校の設置を検討する必要があるのでは

答 地域や保護者の皆様と対話を重ね、義務教育学校も選択肢を含め、未来を生きる子どもたちの成長を支える活力ある学校づくりを進める。

問 イオンモール須坂と連携した情報発信や観光誘導の取り組みは

答 モールを訪れる方々を呼び込むことは、観光振興や商店街活性化の一助になる。引き続き協議していく。

問 市が管理する運動施設において、草の管理や整備に、きめ細かな対応が求められる。安全かつ競技に支障がない環境を提供すべきでは

答 従事者を二名増員した体制で管理を行い、効果や課題を検証しながら、これまで以上に安全で快適な施設を提供できるよう努める。

問 センシング技術は果樹栽培に大きな可能性を秘めている。実証や研究に積極的に取り組むべきでは

答 新たなスマート農業技術の研究

や導入支援などに積極的に取り組み、さらなる農業振興を図っていく。

※センシング技術：センサー（感知器）やカメラなどを使用し、様々な情報を計測して数値化する技術の総称。農業への活用では、農作物の生育状況や病害虫発生の有無などの情報を収集、分析することにより、作業の効率化や品質の向上などに寄与することが期待されている。



愛媛県では急傾斜が多い地域の果樹栽培で、農業散布などにドローンが活用されている



市議会本会議は、市ホームページの「長野市議会」の議会中継でご覧いただけます。常任委員会は、録画でご覧いただけます。また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの議録検索でご覧いただけます。

（注）6月定例会の本会議及び各委員会の議録検索へのアップは、9月上旬以降順次行う予定です。

審議結果については、3頁の審議結果一覧を併せて参照ください。

常任委員会のうごき

経済文教委員会

●インバウンド誘客・受け入れ環境整備事業では、戸隠地区におけるオーバーツーリズム対策の一環として、外国人観光客の分散化を図るライナーバスの試験運行のほか、観光案内板の改修・設置に向けた調査や計画策定などが予定されている。引き続き、来訪者が満足できる観光体験を提供するとともに、調査・研究を通して、効果的な誘客と受け入れ環境整備の両立を図っていくよう要望した。



外国人観光客でにぎわう戸隠神社奥社の杉並木

●令和8年3月から導入が予定されている公民館・交流センターの電子使用申請システムについて、今までと同様に窓口での紙による申請も並行して取り扱うことから、システム

による申請と紙による申請の双方の間に優劣が生じないよう、誰もが使いやすい運用方法を検討していくよう要望した。

●請願第九号については、全員賛成で採択すべきものと決定した。

建設企業委員会

●ペットと過ごせる公園の拡充については、時代の要請に合わせ、拡充は望ましいことではあるが、動物が苦手な方にも配慮し、飼い主のマンナー向上の啓発を行うとともに、地元合意を十分に得た上で進めていくよう要望した。



犀川第2緑地に新たにオープンしたドッグラン

●中心市街地の活性化のうち、遊休不動産活用事業については、中心市街地の空き家や空き店舗の利活用の

取り組みを支援することで、地域の活性化をめざすものであるため、リノベーションにより生まれた店舗が観光客の来街目的となるよう、幅広い層への情報発信について要望した。

また、長野駅前で計画されている再開発事業については、居住人口や交流人口の増加に寄与するものだが、事業費の増加が見込まれるため、施工者が行う事業費低減策検討にあたり、必要な指導・助言を行うとともに、情報提供を行うよう要望した。

総務委員会

●長電バス、アルピコ交通が運行する市内バス路線の廃止に伴う、本年10月からの乗合タクシー運行や来年4月からの市営バス運行などの対応は、時間的猶予がない中で、地域やバス事業者等と調整を行い、示された代替案であると理解している。今後、関係者と協議を重ね、状況に応じて運行方法の見直しを行うなど、柔軟性を持つて対応するよう要望した。

また、廃止路線に限らず、市全域において、市民がバスを身近に感じ、乗って残そうと感じてもらえるような利用促進策を併せて検討するよう要望した。

●請願第四号及び請願第七号については、全員賛成で採択すべきものと決定した。

●請願第五号及び請願第六号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

福祉環境委員会

●第五次長野市地域福祉計画の策定にあたり、これまで負担が大きいとされていた地域福祉ワーカーと生活支援コーディネーターの兼務を分離させ、別々に配置すること。両者を適切に配置し、互いが連携することで、支援体制の強化と業務負担の軽減を図り、地域福祉をより一層推進するよう要望した。

●子どもの体験・学び応援事業について、年間を通した事業が一年目を終えて、登録及び利用状況を見ると、登録していない、また登録していても利用していない子どもたちが一定数いることから、利用していない要因等を分析するとともに、地域コーディネーターが各家庭の状況に寄り添いながら柔軟なアプローチを行うなど、より多くの子どもたちが利用できる事業とするよう要望した。

●請願第八号については、賛成少数で不採択とすべきものと決した。

特別委員会のうごき

水道事業広域化調査研究 特別委員会

6月に開催した委員会では、上田長野地域の水道事業について、事業統合による広域化をした場合に想定される営業・運転管理・危機管理等の業務の共同化による効果について調査し、市当局には、今後も住民に対してわかりやすく丁寧な説明に努めるよう要望した。また、上田長野地域水道事業広域化協議会において、事業統合による広域化を行う場合の基本的方針をまとめた基本計画の策定に向けた協議が行われていることから、当委員会としては、引き続き調査・研究を進めることとした。

中山間地域活性化調査 研究特別委員会

森林環境譲与税を活用した中山間地域の振興につながることを期待される事業の提案について協議した。具体的には、4月の委員会において、将来的に地域づくりの担い手となる関係人口の創出につながるため、現在実施している森林とふれあい体験事業に、中山間地域と市街地の住民が交流できる場をつくることを見据え、要件を加える提案をまとめた。提案については、理事者に提出し、6月の委員会で見解を聞き、委員会

の提案と一致していることを確認した。

公共交通対策調査研究 特別委員会

4月には、大豆島保科温泉線の再編及び乗り継ぎ拠点の整備について管内視察を行った。視察では、市役所前から川田駅まで大豆島保科温泉線のバスに乗りした。川田駅では、路線見直し後の運行方法、運行見直しによる効果及び川田駅の今後の活用方法について説明を受けた。

6月定例会中に開催した委員会では、地域内のA Iオンデマンドバス利用状況、交通結節点の整備状況、地域連携ICカード導入後の利用状況及び市内バス路線廃止に伴う今後の対応について調査した。



バス路線の再編に伴い、乗り継ぎ拠点となる川田駅を視察した

Topic

「ながの市議会だより」ができるまで
読みやすく分かりやすい議会報をめざして

1 企画・紙面の打ち合わせ

広報広聴委員会を開き、記事の企画や紙面構成について協議し、決定します。

2 記事原稿の作成

質問を行った議員が、質問と答弁の要旨をまとめていきます。

3 紙面のチェック・修正

広報広聴委員会を開き、文章の内容や表現など、より読みやすく分かりやすい紙面となるよう確認します。

4 校正・印刷

広報広聴委員会の確認を終えた最終原稿を印刷会社に持ち込み、色合い等の確認を経て、印刷されます。

完成!



限られた文字数で質問と答弁の趣旨を正確に伝えるには？

この写真はもっと大きいほうが様子が伝わるね

別の言葉で言い換えたらかっと分かりやすいのでは？

二次元コードで詳しい資料にリンクを張ろう！

聞き慣れない用語には解説を加えたら？

議場の様子もぜひ録画中継で見てほしい！

9月市議会定例会 会議予定

*日程案は変更となることがあります。

月	火	水	木	金	土	日
9/1	2	3	4	5	6	7
*「請願」「陳情」を希望する人は開会日までに提出してください。			本会議 会期の決定/議案上程/決算議案上程	休会 議案調査	休会	休会
8	9	10	11	12	13	14
休会	休会	本会議 一般質問(個人)	本会議 一般質問(個人)	本会議 一般質問(個人)/議案質疑等/決算特別委員会の設置等 決算特別委員会前期全体会	休会	休会
15	16	17	18	19	20	21
休会	委員会 総務・経済文教	委員会 福祉環境・建設企業	決算特別委員会分科会 総務・経済文教	決算特別委員会分科会 福祉環境・建設企業	休会	休会
22	23	24	25	26	27	28
決算特別委員会分科会 総務・経済文教	休会	決算特別委員会分科会 福祉環境・建設企業	休会	休会	休会	休会
29	30	10/1	2	3	4	5
決算特別委員会後期全体会 議事整理	本会議 採決	本会議 議会人事				

議会を傍聴するには？

- 【本会議】 年4回の定例会で全議員が出席して行われる会議です。市役所第一庁舎8階の議場ロビーにお越しください。
- 【委員会】 年4回の定例会、また必要に応じ開催されています。市役所第一庁舎7階の議会事務局にお越しください。

◆託児

議会を傍聴する場合に、対象となる保育所等で一時預かりを利用することができます。その際は、保育料を全額減免または全額補助いたします。利用を希望する際は、議会事務局へご相談ください。

◆手話通訳・要約筆記

傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。本会議の手話通訳・要約筆記が無料となります。



点字版・音声版の市議会だよりもあります!!

視覚に障害のある方や活字を読むことが困難な方のため、「ながの市議会だより」の点字版及び音声版（通常CD版。デジター版ではありません）を発行し、希望される方に配布しています。

配布を希望される方は、議会事務局（電話：026-224-5057）までご連絡ください。

広報広聴委員

委員長 金沢 敦志
 副委員長 藤澤 英夫
 委員 紀子 和原 阿出 川希
 田 原 ようこ
 凌 弥 山崎 昭夫
 北 沢 哲也 寺沢 さゆり

次の9月定例会は、一期目の萩原市政にとって最後の定例会となります。6月定例会では次期市長選に向けた進退が表明されませんでした。9月には明確にされると思います。また、9月定例会では、市長から一期目の施策の総括がされると思います。市議会としても、これまでの施策の総括と今後の施政方針について、しっかりと議論していく必要があると考えています。

編 集 後 記

WEBアンケート募集中

WEBアンケートを募集しています。紙面づくりの参考にさせていただきますのでたくさんの方々からのご意見をお待ちしています！

回答期日 10月1日(水)



長野市議会

検索

長野市議会ホームページ
<https://www.city.nagano.nagano.jp/shigikai/index.html>
 E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

長野市議会事務局

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
 TEL: 224-5057 FAX: 224-5105